

あいのわ支援センター 地域連携推進会議録

■開催日時	令和7年7月30日11:00～12:15	■開催場所	谷中第二ハウス
■会議参加者	利用者代表1名・家族代表1名・地域代表1名・福祉に知見のある方1名・足立区の担当者1名・施設管理者/サービス管理責任者1名、管理職員2名		
■議題			
<p>1. 施設の理解や地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 谷中ハウスの概要について説明 <p style="margin-left: 20px;">5つのユニットの定員、各ハウスの開設時期、特色の説明。障がい特性による設備の違いや、こういった日中活動の場を利用されているのか、説明を行った。</p> ・ サービス内容と費用について <p style="margin-left: 20px;">ひと月あたりの利用料、ご利用者の生活の流れ、起床から就寝までの過ごし方、休日や余暇の過ごし方を説明。また、利用者代表の方にもご自身の生活をお話いただいた。</p> ・ 施設での活動について <p style="margin-left: 20px;">本年度5～7月に実施した、各ハウスの行事について写真を用いて説明した。ボウリング大会・どら焼き作り・カラオケ大会、綾瀬ハウスはアイスクリームパーティ・焼きそば作り・夏野菜カレー作り、青井第一・第二はホットケーキ作り・冷やし中華作りの写真で行事の雰囲気をお伝えした。</p> ・ 災害時の対応について <p style="margin-left: 20px;">法人で定めたBCPや谷中ハウスの消防計画に基づき実施した訓練実績の説明を行った。</p> ・ 谷中第二ハウス、居室環境の一例を見学 <p style="margin-left: 20px;">谷中第二ハウスの設備や入居者の生活状況について見学しながら説明した。また、2階の第一ハウスでは浴室リフトの見学と、ご利用者自ら居室の案内をして頂き見学した。</p> <p>2. 利用者の権利擁護について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハット件数、事故報告件数の報告 <p style="margin-left: 20px;">令和6年度事業報告に沿って、件数と発生傾向を説明した。発生傾向の高い、誤薬忘薬や転倒事故については発生例を挙げて説明し、毎月振り返りと検証による効果確認の機会を設け、安心安全に過ごして頂けるよう努めていることを説明した。</p> ・ 虐待防止関連の取り組み <p style="margin-left: 20px;">法人の虐待防止マニュアルの読み合わせ、全職員を対象にしたチェックリストの実施、グループワーク研修の実施について、本年度は6月に実施していることを紹介した。</p> <p>3. 意見交換、感想など</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設やお部屋をみんなに見てもらって良かった。 (2) 自分の子どもの変化を知る事ができて良かった。グループホームでの生活が良くわかった。 (3) 15年目と聞いたが実際に見学すると、建物内の箇所箇所にテープで補強するなどあって、古さを感じる部分があった。年数立っていて古さも見られたので改修の際に直して貰えると良いのではないか。 			

あいのわ支援センター 地域連携推進会議録

■議題

- (4-1) 虐待防止に関しては、3か月から半年で見直す取組みができるの良いのではないかと。
チェックリストの上位2項目を知りたい。
→言葉遣いや対応に関するもので接遇にも関わること、利用者のできる事に対する支援員間の見解の違い。
- (4-2) (4-1) に関して、利用者からの声は挙がっていないのか？
→第三者評価の利用者調査の際にも、言葉遣いや態度に関し怖いと感じることがあると挙がっていた。言葉に限らず雰囲気や対応など人によって相手に与える印象が変わるため、接遇を内部研修で実施したこともあった。
- (5) グループホームを運営する立場として、共通することがあったと感じた。虐待防止関係では、この会議目的の側面でもあると思う。特に言葉遣いや対応については、会議と研修を何回も行なうようにしている。また、防犯上の観点ではカメラの設置を行なっているグループホームがあり、設置できる所から進めている。。共有部分のリビングと建物外周は付けるようにしており、防犯予防の観点も含めて、施設長のPCデスクトップに遠隔で見れるよう整備して毎日確認している。雰囲気や表情なども第三者として確認できている。
- (6) 夜間の体制についてはどうなっているのか。
→谷中第一だけ夜勤者配置で、他ユニットは宿直体制としている。
- (7) 避難訓練について話があったが、水害の場合に綾瀬ハウスの地域が危ないと思うがどのように避難することになるか。
→河川の水位によって氾濫の可能性があれば、谷中ハウスに避難することになっている。
- (8) 通所の連絡帳は全員が対象ではないと思うがいつ、誰が記入するのか。
→谷中第一は夜勤明けの職員で他は早番職員が記入することが多い。
- (9) 食事について、休日の昼食も配食サービスの利用になるのか、利用者の希望で食べたい食べたくないを選べるのか、休みの日に出かける時などは頼まないこともできるのか。
→基本は3食共に配食サービスだが、希望や予定等によって頼まないことも選択可能。
- (10-1) 今回の会議では地域との関わりが含まれていなかったが、近隣住民との付き合いはあるか。
→現段階では地域との繋がり、関わりはない。町会の方や地域包括支援センター、民生委員に相談しながら、どのような繋がりが作れるか進めている段階にある。
- (10-2)
- ・地域によっては町会が積極的なところと、あまり活動していない町会もあるが、町会に入ることは良いのではないかと。→民生委員の方からは、町会で行っている防災訓練への参加について提案を受けたが、近隣地域の町会ではここ数年実施できていないとの話もうかがっており、まずは地域で開催されるイベント参加などで別の関わりから入れると良いと思っている。綾瀬ハウスについては町会に入っているが、実際の関わりは薄いと感じる。
 - ・グループホームそれぞれの地域によっては、声をかけてくれるような積極的な町会もあれば

あいのわ支援センター 地域連携推進会議録

■議題

そうではない町会もある。中には、ゴミ当番などで参加しているグループホームもある。

(11) 参加者についても日頃関わりの強い関係者が集まっていると感じた為、繋がりが強くはない近隣住民の方などが入ると良いと思う。

以上